

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	かんがい排水事業						担当部	地域活性化営業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	農政課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降		担当係	事業係							
	総合計画 新基本計画	施策等	5 産業・交流		19 農業		2 農業生産基盤の整備を推進します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	6		項	1		目	4		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	目的	何・誰を対象に	農業用かんがい施設整備が不十分な地区													
		どの様な状態にするのか	農業に不可欠な水を確保し、効率的な農業生産基盤の整備を推進する。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成27年度実施内容 河内屋地区の用排水路の整備を行った。</li> <li>◆27年度直接経費の内訳 かんがい排水施設整備工事 河内屋新田地内(464千円) 用排水施設整備事業負担金外1件(438千円)</li> <li>◆28年度直接経費の内訳 用排水施設整備事業負担金外2件(6,561千円) 大山川荒居堰取水堰ゴム取替え等に対するの負担金外</li> </ul>													
受益者負担	無															

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	12,283	205	902	6,561	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.05	0.07	0.05
			人件費	千円	550	275	385	275
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	12,833	480	1,287	6,836
	対前年比		%		3.7	268.1	531.1	
財源	一般財源	千円	10,133	480	1,287	6,836		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	2,700	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	整備延長	m	目標	200	0	35	0
			実績	214	0	35	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	整備延長(累積)	m	目標	5,529	5,743	5,778	5,778
			実績	5,543	5,743	5,778	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	河内屋新田地内において、用排水路L=34mの整備を行い、当街地区のかんがい施設の整備ができた。		
		事業実施における課題	既存の農業用かんがい施設は老朽化が進んでおり、全ての施設を改修するには多大な費用を要する。また、小木排水機場は昭和56年に建設され既に35年が経過し老朽化も激しく今後の対策について事業実施について県との調整を進めて行く。		
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	河内屋新田地内において、農業用かんがい施設の整備を進めたことによって、地内の農業用水を安定的に供給することができた。		
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引続き適正な維持管理に努めるとともに、かんがい施設の整備を進める。また小木排水機場については今後の事業実施について県との調整を進めて行く。		
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	農業の効率性向上のため、今後もかんがい施設の整備、老朽化による施設改築を実施して行く必要がある。		
29年度以降の改善案		各施設の状況を把握し計画的に整備を進めて行くとともに、それに対し活用できる補助金等を利用し市負担の軽減を図る。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。